

令和7（2025）年度  
多摩市協創フォーラム  
東寺方小学区モデルエリア活動報告

中央大学 中村経済学研究室  
令和8（2026）年3月15日  
於 多摩市立中央図書館

## はじめに：令和7年度エリア・協創ミーティング、地域での取組

令和6年度より二層構造でスタートしたエリアミーティングと協創ミーティングを、今年度も同様の形式で開催

エリアミーティング：地域に新たに参画するきっかけを作ることが主な目的として設置

協創ミーティング：これまで長い間エリアミーティングに携わってこられてきている方々と、持続可能な地域の雰囲気づくりについて検討・検証する場～その先には既存地域活動団体とのつながり

エリア・協創合同ミーティング：年に一度のつながり

子どもみこしとおにぎりづくり

第1回協創ミーティング 2025年6月28日（土）午後

「関心層を増やすためには」というテーマで2時間議論



寺小屋プロジェクトに携わった参加者による、地域で寺小屋イベントを開催した際の気づきについて話し合い

- ・ 寺小屋イベント参加者からの感想は好評
- ・ 参加者数自体が少ない：独立したイベントによる開催でなく、定期的に行われている様々な既存イベント内で実施する方法がよいのではないかと提案 → 既存地域活動団体とのつながり
- ・ 「あいさつ」は物ごとの基本：地域全体がお互いに自然にあいさつできる関係性を構築できるようになることが私たちのゴール目標

# 地域での取組

2025年10月4日・5日 山神社例大祭



# 第1回エリアミーティング 10月11日（土）午前

- 前半部は、市による自治体シミュレーションゲーム
- 後半部は、ゼミ学生によるショートワークショップ



前半部のゲームが、エリアミーティングの定義である「地域について知り、考え、参画の機会を築き上げていくために」にどう関連しているのかを明らかにすること、後続のエリアミーティングなどへのつなぎという役割

ショートワークショップ：テーブル内ではどのミニプロジェクトにどういった理由で人気があり、あるいは新しいミニプロジェクト提案があるか、など議論

## 第2回エリアミーティング 11月29日（土）午後



前半部：カードを使った6つの指向性を探る（興味・自信）

「現実的」「研究的」「芸術的」「社会的」「企業的」「慣習的」

後半部：「地域」というトピックで、ゼミメンバーが主体となり、ショートワークショップ開催

- 個人ワークとして、地域でしたいことと、自身ができることを、テーブル全体で共有し、グループでやっていきたいことを考えるプラクティス
- 当日のアイデア例：地域の若い母親が悩みを相談できるようなコミュニティスペースを創設し、ゆるやかに話せる交流のための新たなミニプロジェクトを立ち上げてみたい

## エリア・協創ミーティング 2月14日（土）午前

前半部：協創の説明後に協創メンバーからの活動紹介「まずは動いてみる」、「できる人ができることを」、「コミュニティ間をつなぐ場を創り出せた」、「時々自分たちの活動に問いかけを」、「楽しいから継続できる」、「子どもたちのために続けたい」、「活動を仕事にしない」、「ゆるやかな情報」、「いざという時のための日頃の活動」といった先輩参加者からのメッセージ

後半部：ゼミメンバー進行でワークショップ開催

- エリアメンバーから協創メンバーへの質問時間
- 地域で何か動き出していくための具体案の作成
- 「デジタル社会と地域」、「不登校や運動不足対策の地域イベントの実現」、「手紙で結ぶプロジェクト」、など様々なアイデアが



おわりに

第1回協創ミーティング

第1回  
エリアミーティング

第2回  
エリアミーティング

エリア・協創合同  
ミーティング

地域での取組  
山神社例大祭、次年度には地域  
活動団体とのイベント企画など

